

2. 組合としての取組と実施事業

そのような状況の中で、技術があっても経営は苦手であるという美容師が多いという現状に目を付け、まずは山形美容経営塾を立ち上げた。当塾では、技術講習だけではなく、経営やデジタル技術など幅広いテーマを取り上げ、組合員の店舗の経営力強化と、若手美容師・経営者の育成を目的とし、週に1度、美容室の閉店後の夜間に実施。遠方からの参加者もあり、毎回ほぼ満席になるほどの盛況である。組合員の要望に応え、県内の各支部でも開催し、初年度の令和2年度・3年度では、計23回、延べ207名の参加があり、今年度も引き続き開催している。

次にデジタル化のフラッグシップ「IT委員会」を立ち上げた。組合員で、デジタル技術に精通している有志を募り、デジタルネイティブな若手を中心に、8名のメンバーで活動を行っている。組合及び組合員のデジタル化普及推進のために発足し、委員内で経営塾との連動も含め、日々デジタル化の検討を実施している。

3. 補助金事業の内容

令和3年度の山形県中小企業パワーアップ事業費補助金(オンライン促進事業)に採択され、メールの一斉配信システム構築、動画撮影編集機材を導入、各種SNSへの同時配信システムを構築しPR強化を図っている。また、Web会議用の設備を導入し、オンラインによる組合活動を実施している。

4. 今後の課題と将来に向けた今後の対応

年々組合員が減少しており、このままでは組合の存続に影響が出かねないため、今年度より組合員加入促進運動を実施して新規加入者の獲得を目指している。

また、デジタル化を通じて、業界・組合を若者にPRし、美容師のなり手となる業界に憧れる若者を増やし、経営塾を通じて業界の活性化に努めていきたい。



新関 里美 理事長

さとみの漬物講座企業組合 発表者:新関 里美 理事長

組織概要

所 在	山形市大字古館31
代 表 者	理事長 新関 里美
組合員数	4名

《発表内容》

1. 業界を取り巻く現状と課題

講座事業は当組合の主力事業であり、法人化する前の平成13年より漬物講座を、翌年に味噌作り講座を開始し、組合設立のきっかけになった事業である。県内外から講座の依頼があり、これまでに累計30,000人以上、コロナ前の令和元年度には過去最大の年間4,700人以上の参加があった。

しかし、県内で初のコロナ感染者が確認された令和2年3月頃からキャンセルの連絡が相次ぎ、講座事業は一時依頼が全てキャンセルになり、7月頃までこのような状況が続いて売上に大打撃となった。